

安全データシート
Polyform-F

作成日:2010年12月1日

改訂日:2022年4月1日

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称	Polyform-F(ポリフォーム-エフ)
製品コード	309-300-1~2
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
ファックス番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	marketing2@falma.co.jp
緊急連絡電話番号	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:顆粒状ホルムアルデヒド吸収、中和剤

2. 危険有害性の要約(製品の情報がいないため、成分のデータから区分を推定した)

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(血液系)

上記以外の項目は、区分に該当しない又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置	粉じんの吸入を避けること。 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、水で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
保管	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所で施錠して保管すること。
廃棄	顆粒は可燃物として廃棄する。 完全に溶解したものは、酸性溶液として、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
SDS 記載物質は含まれていない。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

予想される徴候症状

経口摂取: 口腔粘膜及び喉の刺激及び灼熱感が生じることがある。

皮膚: 既存の皮膚症状が悪化することがある。

眼: 刺激が生じることがある。
吸入: 気道刺激が生じることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂類

特有の危険有害性

不燃性であるが、加熱されると分解して腐食性、刺激性、
又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急措置

作業には、保護具(眼鏡・マスク等)を着用する。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはならない。

封じ込め、浄化の方法及び機材

漏出物を水で湿らせ、掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

眼、皮膚への接触、吸入又は飲み込まないこと。
換気の良い区域で使用する。

衛生対策

取扱い後は手などをよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所で施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

設備対策

取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。

局所排気装置を使用すること。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じ、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じ、保護衣、保護長靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

物理状態	顆粒状粉末
色	白色、ピンク色顆粒混合物
臭い	微臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	2.6～2.8(1%溶液)
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	水に溶解し熱を放出する。
化学的安定性	潮解性がある。
危険有害反応可能性	強酸化剤、亜硝酸塩、過酸化物、非鉄金属と反応して有害ガスが発生する。 加熱されると分解して腐食性、刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。
避けるべき条件	熱、日光、高湿度
混触危険物質	強酸化剤、亜硝酸塩、過酸化物、亜鉛、アルミニウムなどの非鉄金属
危険有害な分解生成物	燃焼によりアンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を生成する。

11. 有害性情報(製品のデータはないので成分のデータから区分を推定した)

急性毒性	
経口	成分のデータより区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ヒトの皮膚に中等度の腐食性が認められたことより区分 2。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒトの皮膚、粘膜に強い刺激性を示すとされていることより区分 1。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの吸入試験において、複数の呼吸器系の刺激の症状がみられたことから区分 3(気道刺激性)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの吸入試験において白血球数の減少、血中貪食能の低下、凝固反応の時間の短縮、ペルオキシダーゼ活性の上昇など顕著な毒性症状が認められ、これら症状は観察期間以降も大概が回復しなかったことから、区分 2(血液系)。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

顆粒は可燃物として廃棄する。

完全に溶解したものは、酸性溶液として、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

該当しない。

国内規制

該当しない。

注意事項

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

該当なし

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性がありますので、取扱には十分ご注意ください。